



田川地区平和センター

Email tagawachiku-heiwa@sound.ocn.ne.jp

URL https://ta-heiwa.com/ 鶴岡市泉町8番57

編集発行
田川地区平和運動推進
労働組合センター教宣部



平和 連帯

「武力で平和はつukれない！戦争反対・九条守れ！」 世論が望むのは、改憲より裏金解明、「5・3憲法記念日」改憲反対集会

「5・3憲法記念日」改憲反対集会

「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることがないように決意し、ここに主権が国民に存することを宣言」し、1946年11月3日に日本国憲法が公布され、47年5月3日に施行されました。今年の5月3日で施行後77年が経ち、自公政権により憲法の空洞化が進むなか、改憲に反対し全国で多くの集会が開催されました。

新たな戦前にさせない！

改憲反対・九条守れ！

田川地区平和センター等で構成する「新たな戦前にさせない！改憲反対・九条守れ」市民集会在、5月3日13時から鶴岡市美咲町パル前交差点で開催され



5月3日鶴岡市美咲町パル前交差点



2024年5月3日、東京・有明防災公園

「武力で平和はつukれない！とりもどそう憲法いかす政治を2024憲法大集会」5月3日、東京都有明防災公園では、「武力で平和はつukれない！とりもどそう憲法いかす政治を2024憲法大集会」が開催され、快晴のなか、会場いっぱい約3万2千人が集まりました。自公政権による憲法破壊・戦争政策の推進に対する怒りと危機感にあふれた集会でした。

安倍内閣「解釈改憲」で

「戦争法案」強行成立

憲法学者からも違憲と指摘された安全保障関連法案（安保法制）が2015年9月17日、与野党の激しい攻防の中、参議院本会議で成立しました。戦後70年、日本の防衛安全保障政策は、「集団的自衛権の限定的な行使」が法制化され、憲法九条が空洞化され、大きな転換点を迎えました。平和センターは、毎月19日を「違憲の日」とし、抗議のスタンディングをしています。

戦争のできる国から戦争をする国に

憲法・国会を軽んじる岸田首相

安倍元首相は、集団的自衛権を行使できる「戦争のできる国」に日本を変貌させました。岸田首相は、国会や憲法を軽んじ、国会審議を経ない閣議決定で、敵地攻撃能力の保有を打ち出した安保三文書の改定や次期戦闘機の第三国輸出方針などを決定し、従来の政策を大転換しました。さらに日米首脳会談で合意された米軍と自衛隊の「指揮統制」の連携強化で日本を「戦争をする国」に変えようとしています。

安倍政権ですすんだ「壞憲」

教育基本法の「改正」

1947年3月31日、日本国憲法の「この理想の実現は、根本において教育の力にまつべきものである」と憲法と一体で教育基本法を定められました。しかし、改憲をめざす安倍元首相は、「戦後レジームからの脱却」を掲げ、「現行の教育基本法は、個人の尊重に偏りすぎている。公共心や伝統、愛国心の尊重などが盛り込まれていない。盛り込む必要がある」と、時の政府の意思によって、特定の価値観を子どもたちに事実上強制する「改正」が2006年に行われました。これにより、憲法と一体であつた教育の基本的な原則や価値観が変えられました。

立憲主義に基づく政治を

憲法とは、政府が従うべき最高規則であり、国民ではなく、国会議員や政府にこそ、日本国憲法を遵守する義務があります。立憲主義は憲法に基づいて統治がなされるべきであり、政治権力が憲法によって実質的に制限されなければならぬという政治理念です。立憲主義に基づく政治を求めましょう。

集会では、参加者が、岸田政権の危険な政権運営を指摘し、それぞれの平和に対する思いと改憲反対の意思を訴えました。さらに、世界で戦争が起こっている今こそ、不戦を誓う平和憲法のすばらしさを訴えるために「憲法の前文」が読んで提起され、参加者で再確認しました。最後は、「改憲発議許さず、憲法を生かし、平和と命と人権を守ろう！、次期戦闘機の第三国輸出解禁に反対し、外交努力で平和をつくろう！辺野古新基地建設・南西諸島へのミサイル基地化を中止しよう！、経済安保情報保護法・活用法案に反対しよう！これらの実現のために岸田政権を交代させ、安心してくらせる社会をめざそう！」をシュプレヒコールし、道行く人たちに訴えました。約40人が参加しました。